

## これまでに実施した意見聴取・反映方法のまとめ

### 1 委員会、部会におけるこれまでの取り組み

委員会および部会では、これまでに「より良い内容の提言を行う」「一般意見聴取・反映に関する検討のケーススタディ」の2つを大目的として、これまでに下記の一般意見聴取を試行してきた。

<全ての会議で常時実施>

- ・一般からのご意見を常に受け付け、頂いたご意見を委員会、部会資料として配付
- ・委員会、部会の場で一般傍聴から意見をお伺いする時間を設ける

<流域委員会全体として実施>：詳細はP 6以降参照

- ・テーマを設定し、広く呼びかけて「一般からの意見募集」を行った（平成13年12月）
- ・中間とりまとめを契機とした淀川水系流域シンポジウムの開催（平成14年6月）
- ・中間とりまとめに対する意見募集の実施（平成14年6月～8月）

<淀川部会にて実施>：詳細は次頁以降参照

- ・「一般からの意見募集」への応募意見のなかから10名程度を選出し、部会（1/26）にて直接、意見発表頂くことをお願いした。
- ・中間とりまとめについて、論点となるテーマについて現地でお話をお伺いし、対話をする会をテーマ別（治水、環境、利用、利水（水需要管理））に3回開催した（H14.8/28,9/7,9/20）。

<委員会、他部会にて実施（淀川部会と内容が異なるもの）>：詳細はP 6以降参照

- ・いくつかの現地視察において、決められた視察ポイントに現地の方に自由に集まって頂き、意見をお伺いした（琵琶湖部会）
- ・現地視察にて、地域に詳しい方に事前をお願いしていくつかのポイントで現状等について説明頂いた（琵琶湖部会）
- ・意見聴取試行の会として、意見発表を希望される方すべてにお話し頂いた（琵琶湖部会）

## 2 淀川部会におけるこれまでのとりくみの詳細

### 第 11 回淀川部会「意見聴取の会」

開催日：平成 14 年 1 月 26 日（土）

場所：京都

目的：平成 13 年末に流域委員会で実施した意見募集を機に、部会として聞いておくべきと思われる意見をより詳しくお聞きするため。

意見をお伺いする方の選出：応募意見の中から意見発表者を選出。

テーマ設定：無し（治水、環境、ダム等バランスを考慮して選出）

意見発表者数：10 名

プログラム：意見発表者 10 名を、5 名ずつ前半、後半に分け 1 人 6 分で発言頂いた。また、前半・後半ごとに、意見発表の後まとめて委員から発表者への質疑応答を行った。最後に一般傍聴者からも意見を募った。

参加数：委員 19 名、一般 111 名

### 第 1 回～第 3 回淀川部会現地対話集会

開催日：平成 14 年 8 月 28 日（水）、9 月 7 日（土）、9 月 20 日（金）

場所：八幡市、枚方市、京都市

目的：「中間とりまとめ」をもとに、現地に伺って論点に関わる関係者（住民、企業、自治体等）の生の声を聞き、対話を行う。

意見をお伺いする方の選出：委員からの推薦をもとにテーマ、開催地に合わせて選出

テーマ設定：有り（第 1 回 治水・防災 / 第 2 回 環境、利用 / 第 3 回 利水）

意見発表者数：第 1 回 3 組 4 名 / 第 2 回 午前 2 名 午後 3 組 4 名 /  
第 3 回 3 組 5 名（予定）

プログラム：意見発表時間を 20 分 / 組として、1 組終了ごとに委員との意見交換時間を 10 分設けた。最後に一般傍聴との意見交換も行った。

参加数：第 1 回 委員 13 名、一般 88 名

第 2 回 委員 14 名、一般 100 名

第 3 回 委員 14 名、一般 130 名（予定）

## 3 これまでのとりくみに対する評価

これまでの一般意見聴取・反映の試行に関する評価については、下記の観点で検討が必要である。

### 目的の設定

- ・ 目的が明確であったか
- ・ 意見発表者、参加者が理解できていたか

#### 意見聴取対象者

- ・ 選定方法は適切だったか（公平性、プロセス、透明性）
- ・ 目的に見合った意見聴取者が選定できたか
- ・ バランスのとれた選定、適切な人選だったか
- ・ 訴求の範囲は適当であったか
- ・ 意見出しやすい媒体（ホームページ、ニュースレター、新聞告知、チラシ等）であったか
- ・ 応募者のバランスは（年齢に偏りはなかったか、意見を聞きたい層の反応はあったか）

#### プログラム

- ・ 意見発表時間は適切だったか（短かったか等）
- ・ 発表がしやすい雰囲気だったか
- ・ 委員との意見交換は適切だったか（時間、タイミング、盛り上がり等）

#### 内容

- ・ お伺いしたいことが聞けたかどうか
- ・ 意見交換が目的にあっていたか
- ・ とりまとめや議論の参考となったか。

#### 意見の反映

- ・ どのような形で部会の議論、とりまとめに反映させたか。プロセスは（会議資料として提出 / 会議の場で時間をとって議論 / 各委員が熟読し検討材料に / 最終提言に付記）
- ・ どのような形で意見を寄せた人、発表者にフィードバックできるか、やり取りの概要の公開は（主な意見ごとに委員会・部会として対応を提示 / 寄せられて意見を冊子として集約 等）

#### 4 河川管理者が行う意見聴取反映に関する助言等

- （現地対話集会のような形での）地域の声を積極的に聞くべきか。どのような形で、どのような範囲で、どの程度の頻繁に聞くべきか
- （中間とりまとめへの意見募集等のような）広く一般へ問いかけるような意見の募集を行うべきか、どのような形で行うのか
- 意見を聞くべき対象として考えられるのは、どのようなものか（これまでの試行の対象、およびそれ以外で・・・等）

## 5 今後考えられる取り組み

### (1) 意見聴取方法の検討にあたっての視点

意見聴取方法を検討するにあたっては、下記の視点を考慮する必要がある。

意見聴取を行う目的は何か

- ・ 真実（現状やニーズ）をきちんと知りたい
- ・ アイディアを得たい
- ・ 何かの事項について判断する材料としたい
- ・ 啓発やPRを行いたい

今、部会における議論はどのような段階か

- ・ 現状把握段階（今起こっている事象、問題点等）
- ・ 課題、方向性検討段階（治水に関するスタンスの選択等）
- ・ 具体的な計画、事業等について検討段階（個別メニュー（ダム等）の検討等）

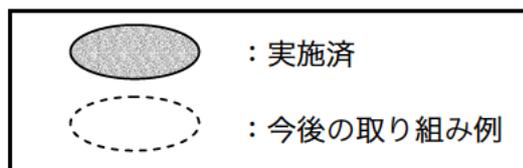
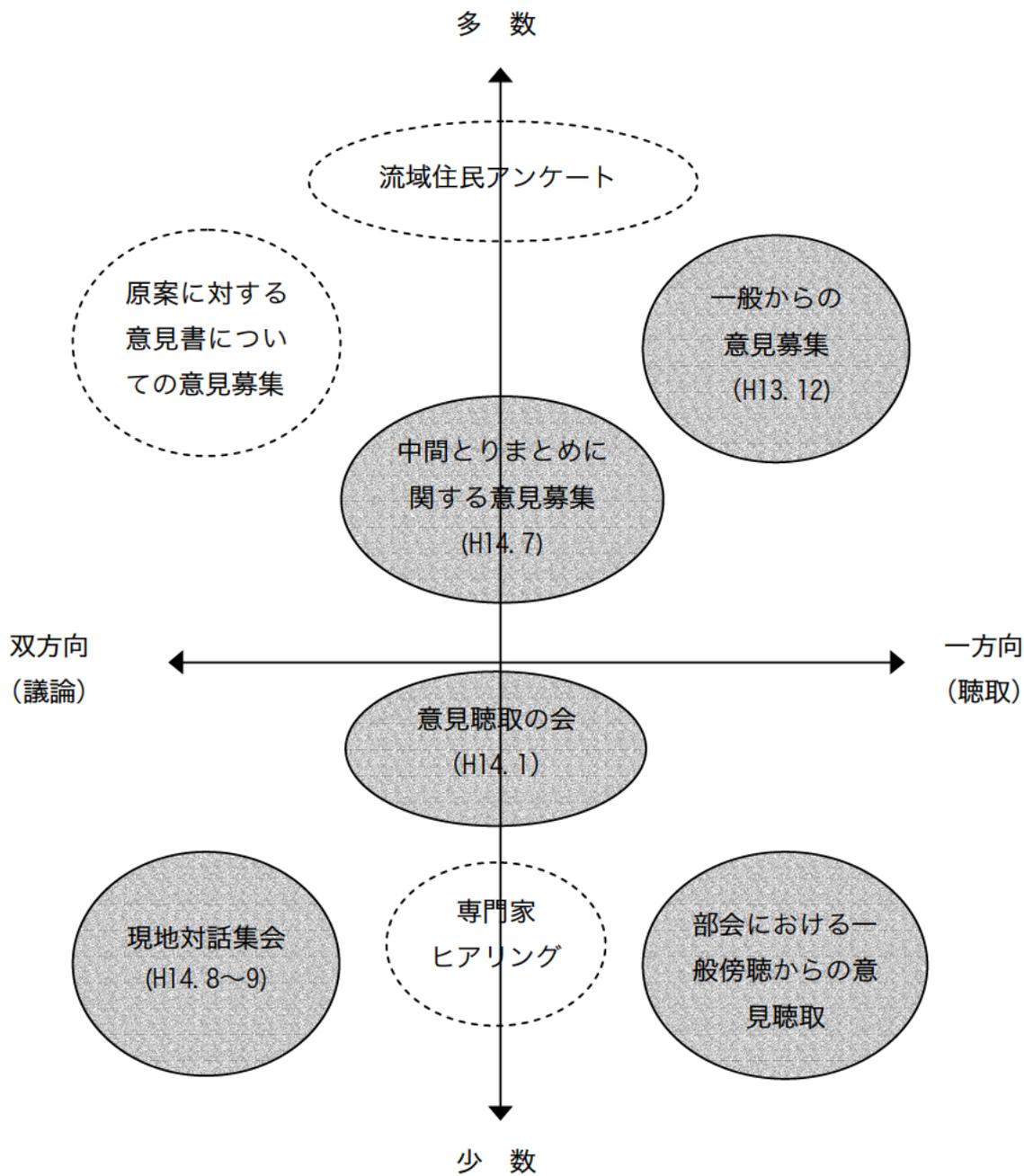
どのような対象を考えるか（だれに聞くべきか）

- ・ 流域住民（川に近接／氾濫域に居住／高台に居住）  
（上流／下流）  
（子ども／若者／主婦／中高年／高齢者）
- ・ 河川の利用形態による違い（飲料水として利用／レジャーに利用／仕事で利用）
- ・ 河川に関係する組織、団体（生業／レジャー／自然保護）
- ・ 利害関係者（水域利用者 水上バイク利用者／地域住民／漁業者／環境団体 等）

### <いくつかの取組の例>

- いくつかの重要な事業等を判断する上で、流域住民の声を聞くアンケートを実施する
- 整備計画のメニューを検討する際の参考として、専門家の意見を聴取する
- 整備計画原案に対する流域委員会の意見（意見書）を広く流域住民にアピールをして、意見を聞く

図 これまでの取り組みの整理



## 参考：流域委員会全体、委員会、他部会でのとりくみ内容

### 流域委員会全体

一般からの意見聴取の実施（平成 13 年 12 月実施）

目的：中間とりまとめの策定に向けて、広く一般の方々の意見を反映させるために、広い対象に向けて意見募集を行う。寄せられた意見については、会議の場で直接意見を聴くことも想定する。

応募数：238 件

中間とりまとめに対する意見募集の実施（平成 14 年 7 月～8 月）

目的：「中間とりまとめ」の議論をさらに深め、より充実したものとするため、より多くの方に意見を伺う。

応募数：132 件

淀川水系流域シンポジウムの開催（平成 13 年 6 月 23 日（日））

目的：広く流域住民や関係者の方々に淀川水系流域委員会の活動や中間とりまとめの内容について知ってもらい、私たちの生活を支えている淀川水系について考えていただく機会を提供する。

参加数：委員 26 名、一般 474 名

### 委員会

第 9 回委員会「ご意見をお伺いする会」の実施（平成 14 年 3 月 30 日（土））

目的：中間とりまとめに向け、これまでにご意見をお寄せいただいた方々から 8 名程度の方に意見発表いただく。

参加数：委員 18 名、一般 174 名

### 琵琶湖部会

第 7 回琵琶湖部会（現地視察）の実施（平成 13 年 11 月 20 日（火））

目的：現地視察にあたって、いくつかの視察地点で地元の方からお話を聞き、環境や漁業における現状と課題、生活と水の関わりについて理解を深める。

視察箇所：安曇川（河口～上流）、朽木、堅田内湖 等

参加数：委員 9 名、一般（お話を伺った方）6 名

「意見聴取のための試行の会」の実施（平成 13 年 12 月 21 日（金））

目的：今後の委員の議論の参考とするために一般の方々が感じていること、思っていることを発言してもらおう。これまでのような、当初から傍聴している少数の人・

組織だけでなく、できるだけ広い範囲のより多くの一般の方からの意見をもらい、委員の議論に反映させるための場を設ける。

参加数：委員 7 名、一般 115 名

第 10 回琵琶湖部会「意見聴取・反映に関する試行の会」の実施（平成 14 年 2 月 19 日（火））

目的：中間とりまとめを行うために住民の方々がどのような意見を持っているのかを伺う。住民の意見をどう反映していくか、その仕組みを考える。

参加数：委員 10 名、一般 77 名

第 14 回琵琶湖部会（現地視察等）の実施（平成 14 年 6 月 4 日（火））

目的：現地視察にあたって、いくつかの視察地点で地元の方からお話を聞き、ダム建設の現状と課題等について理解を深める。

視察箇所：余呉町、丹生ダム建設予定地 等

参加数：委員 14 名、一般 6 名

#### 猪名川部会

第 8 回猪名川部会「一般からの意見聴取」の実施（平成 14 年 1 月 27 日（日））

目的：平成 13 年末に流域委員会で実施した意見募集に応募があった意見の中から、部会として聞いておくべきと思われる意見を抽出し、その方を招いて実際に意見を伺う。

参加数：委員 10 名、一般 57 名

猪名川部会委員有志による現地フィールドワークの実施（平成 14 年 8 月 2 日（金））

目的：現地視察にあたって、いくつかの視察地点で地元の方からお話を聞き、各地域の現状と課題等について理解を深める。多田地区にて地元住民の方と意見交換。

参加数：委員 5 名

以上